

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書1章57～80節＞

1 なぜルカはこんなに洗礼者ヨハネについて詳しく述べるのか？

ルカによる福音書を読み始めると上に掲げた疑問を覚えなければおれません。それは、「この理由を考えてから、来週のイエス様誕生の個所に向かいなさい」と、神様はルカを通して私たちに語りかけておられるのかもしれませんが。すると何が見えて来るのでしょうか

2 当時の人々にとって、洗礼者ヨハネはどんな存在だったのか？

今の私たちは洗礼者ヨハネをあまり重要視していません。なぜかと考えると、イエス・キリストが大事だということを知っているからです。しかし当時は違いました。大きくなり、神様から託された務め、イエス・キリストを救い主だと指し示す役割を果たし出した中で、誤解されることが起こって行ったのです（ルカ 3:15 とその後、使徒言行録 18:24-25 とその後。また、使徒言行録 19:1-10。全てルカが著者）。今も同じだと思います。色んな宗教があり、色んな教祖が存在し、一口にキリスト教徒と言っても、イエス・キリストの重要性をどれだけ分かっているかは一人一人違いますし、その度合いによって、イエス・キリストを大切にする度合いも違います。では、どうしたら、本当にその大事さが分かって来るのでしょうか？ それは、そのために神様が与えて下さった聖書によく聞くことです（テモテⅡ 2:1-13）。そして、ルカもまた今日の個所でも、イエス・キリストが大事なのだということをおのように教えようとしています。

3 ルカはこの個所でもイエス様の重要性を伝えようとしている！

(1) 57-66：ヨハネ（意味：主は隣み深い）という名へのこだわりは天使から託された務め、後に来られる主（イエス様）に人々を向けさせることにある（ルカ 1:14-17 人々はなかなか理解できない）。

(2) 67-79：ザカリアの預言であり、初代教会の人たちの信仰告白。

特に、76-77：神様の隣みから出た「罪の赦しによる救い」が「主」

（イエス様）によって成し遂げられること（68-70）を、この子（ヨハネ）は「主」（イエス様）に先立って人々に伝える。

キリスト教信仰は、その信仰の対象（イエス様）が持つ大きな破格の恵みの内容を理解することと、その内容を他の何よりも大事にして生きることが大事なのです。クリスマスの出来事に向かいましょう！